

RSNの活動について動画をアップ

パチンコ・パチスロ産業21世紀会（阿部恭久代表・全日遊運理事長／略称21世紀会）は9月16日より、「存じですか？リカバリーサポート・ネットワーク（RSN）」と題した動画を新たにアップした。

本年は、依存症問題啓発週間（5月14日～20日）に併せて、依存問題フォーラム（パチンコ・パチスロ依存問題フォーラム実行委員会主催）を特設WEBサイトに動画として載せ、1年間はいづれでも、どこからでも視聴を可能としている。

今回新たにRSN代表理事の西村直之氏（精神科医）により、RSN活動について説明を加えた。「どんな組織ですか」「非営利の相談機関という事ですが、具体的にはどのような活動をしているのでしょうか」「そもそも、パチンコ・パチスロ依存問題って何ですか」「どんな相談ができますか」「対面相談はできますか」という5つの設問を通じて、どんな相談ができるのかを紹介している（動画は6分40秒）。

①「どんな組織ですか」／RSNはパチンコ・パチスロ依存問題についての電話相談機関として、2006年4月に開設し、15年余の活動実績を持つ。

②「非営利の相談機関という事ですが、具体的にはどのような活動をしてい

るのでしょうか」／パチンコ・パチスロの依存に関する問題に対して、無料で電話相談をしている。電話番号は全国のパチンコホールに貼っているピンクのチラシで告知している。パチンコ遊技される方々の多くは、ホールのトイレに掲示されているRSNのチラシを一度は目にした事があると思う。電話相談の他には、依存問題に関するリーフレットの発行、ホールで従事している人向けのeラーニングの構築や運営、依存問題に多様に関わっている人向けの勉強会の開催など、工夫しながら実施している。

③「そもそも、パチンコ・パチスロ依存問題って何ですか」／そもそも全てのゲームは、興奮や快楽など、人の感性を刺激するように作られている。そして多くの人は、楽しいとかいう娯楽のレベルで留まっているが、その楽しいというレベルを超えて、それでは済まない段階に踏み込んでいく人もいる。その段階に踏み込んで起こってくる問題を「依存問題」と呼んでいる。パチンコ・パチスロ遊技で、のめり込み過ぎて、問題を抱えてしまった人に対して、問題をこじらせないよう、様々な角度からアドバイスや提案をRSNは行っている。さらに詳しく知りたい場合は、「パチンコ依存」って何というWEB

フォーラムを参照の事。

④「どんな相談ができますか」／パチンコ・パチスロが適度に楽しめていない、度を越してしまっていると感じれば、電話相談して欲しい。電話相談する人の約8割は、依存の問題に悩んでいる本人からとなっている。RSNの相談員は、電話をかけた人（あるいは家族や友人など）の問題をよく聞きながら、整理し、一番良い方法を一緒に考える事を基本としている。最寄りの地域で問題の解決を手伝ってくれる公的機関、相互援助グループなどの紹介など、最善策を一緒に見つけられるように努めている。

の中には、「自分は『パチンコ依存症』という病気」と思い込んでいる人もいます。RSNは「依存は病気」という視点で話を聞いていく事はない。それよりも「どんな理由で、なぜのめり込んでしまったのか」に焦点を当て、「本当に解決すべき問題は何か」を一緒に探してい

くという姿勢。それでも、パチンコ・パチスロを止める方法を教えてほしい」という相談がある。RSNは、「やめる・やめない」に注目して対応する事はない。「本当に解決すべき問題」「のめり込みに至る原因になった問題」「悪化させてしまった問題」を考えないと、一時的にパチンコ・パチスロを止めたとしても、問題解決に至らず、問題を繰り返す事になる事も少なくない。RSNは、相談されてきた方の問題解決に取り組む努力を支え、そのプロセスに寄り添う支援を行っている。

⑤「対面相談はできますか」／現在、電話相談のみで対面相談は実施していない。予約制の対面相談を実施していたが、コロナ感染症拡大により、オンラインの無料個別相談に切り替えた。

ギャンブル等依存症対策基本法は2018年7月に成立・公布、2018年10月5日から施行され、早くも3年が経過するところとなり、今回の動画掲載はパチンコ業界として依存対策の継続した取り組みを広く周知させる活動の一つとなっている。

認定特定非営利活動法人
リカバリーサポート・ネットワーク

